202

# 環境経営レポート

対象期間 2022/4/1~2023/3/31



株式会社ビー・エヌ



## 目次

1. あいさつ/会社概要	3
2. 環境経営方針	8
3. 環境システム組織図	9
4. 主な環境負荷の実績	10
― 過去3年間における環境経営目標及びその実績	
― 電力による二酸化炭素削減	
一 太陽光発電量	
一 自動車による二酸化炭素削減	
— 一般廃棄物の削減	
— 産業廃棄物の削減	
— 水道水の削減	
— 再生原料利用の推進	
— 化学物質の適正管理	
— 非PRTR製品比率	

5. 経営課題に関するチャンスと取り組み	28
6. 環境法規	29
7. 緊急事態対応の試行・訓練	31
8. 事業継続力強化計画	32
9. 感染症対策	36
― ネット販売商品について(再生品の使用等)	
10. 環境活動	39
11. 代表者による全体の評価と見直し、指示	41



経済環境の激変は、大変厳しいものになってま すが人為的努力で回復の期待が持てます。

一方地球環境、住環境は一度変化してしまうと なかなか人間の力では元にはもどせません。 そんななかで塗料を扱う私たちだからこそ、環

境を考え少しでも温暖化防止、環境保全活動に

奇与できればと考えています。

馬場正之

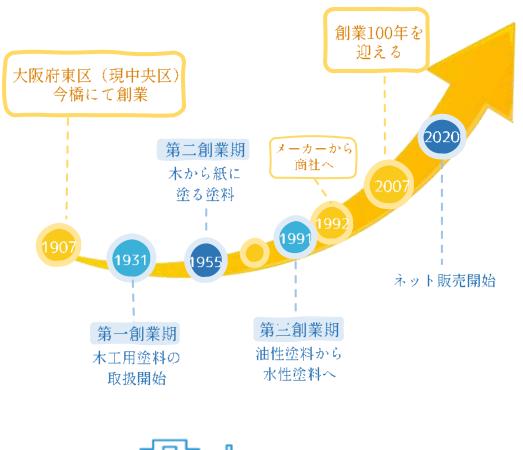




株式会社ビー・エヌは、塗料一筋100年を超える歴史を 有しています。

第1創業期は、木工用塗料・軍事用塗料の販売や宮内 庁御用達の家具用塗料の製造を。第2創業期では紙用機 械塗り塗料の開発などを、そして現在の第3創業期では、 印刷に求められる高付加価値化に対応する塗料の販売、 その塗料の最適化を図る希釈剤の製造・販売などを 行っております。

塗料とともに歩んできた100余年。当社ではこれからも 歴史に甘んじることなく、新たな塗料の可能性を追求 し、お客様の期待に応える塗料のプロフェッショナル としてその役割を果たしていきます。





## 会社概要 (認証登録範囲)

代表者 代表取締役 馬場正之

創業 明治40年

設立 平成3年12月18日

所在地 大阪府大阪市城東区鴫野西2丁目7番6号

事業内容
塗料製造及び販売、印刷物表面加工用資材販売

主要商品 印刷物表面加工用塗料、希釈剤 木材割れ止め塗料、木工用塗料 食品保護剤

事業規模 売上高 4.5億円 従業員数 7名

認許可 1. 食品添加物製造業(大阪市大保環 第20381号)

2. 毒物劇物製造業 (大阪府登録 阪製第457号)

3. 毒物劇物販売業(大阪府登録 第HH04678号)



#### 設備

#### 総敷地面積

1,980m<sup>2</sup>

#### 危険物製造所

◆ 延 192m² 一棟

◆ 混合タンク 1,600L 一基、800L 二基(固定式) 1,500L 一基、1,200L 一基(移動式)

◆ 攪拌機 3台移動撹拌機 2台

◆ホイスト 1機

#### 危険物特定屋内貯蔵所

62m<sup>2</sup> 一棟

#### 地下タンク貯蔵所

3基

事務所 他





#### 会社概要 - 商品

従来、我々の業界では油性塗料が主流でしたが、近年ではアルコールなど 水溶性のものに移行しています。

同時に、劇毒物が入った商品の出荷量も減少傾向にあります。そのような時代のニーズに合わせ、当社の扱う塗料も環境に考慮した材料選び・配合を常に考え製造を行っています。



\$58

出典:日本塗料工業会

#### 主な商品の紹介(希釈剤)

希釈剤は水性と油性に分かれます。

印刷の表面加工用塗料や木工用塗料を現場に合わせた形で使用するためには、 塗料の特性を知るだけでなく、現場の特性を考慮し、最適な希釈の調合を行うことが大切です。 当社では、自社内で希釈剤を調合することができる工場を装備し、

> お客様の「**今すぐほしい」**に対応できる環境を整えています。 また、希釈剤以外にもご希望に沿った塗料の提案や製造を行っています。

## W <mark>-</mark> 1 0

水性塗料希釈剤のスタンダードタイプ。

メタノールを主体に速乾性を重視、全ての水性塗料に対応します。

W-10をベースにお客様の使用目的・環境に合わせて配合を変えた商品も数多く取り扱うことで、広くご使用いただいています。







製造時に必ず使用する石油缶には、積極的にリユース缶を採用しています。 また、希釈剤等の商品は配達~引き上げまですべて自社便にて行っており、一部の石油缶を「通い缶」として 再利用しています。











製造

自社便にて 配達 使用済み缶の回収

外観・内部チェック 掃除

製品に使われる石油缶の他 梱包資材など、あらゆる資材を 積極的にリサイクル、 リユースしています。



#### 主な商品の紹介(特殊用塗料)

木工用塗料は艶を出す、木肌を生かす、耐久性を持たせるなどの目的を持っています。 当社では、ワレ防止・速乾・肉持ち感・日焼け止めなど多彩な機能を備えた塗料をラインナップしています。 食品保護用塗料の他、鋼材を錆から守る、絶縁機能を持つ塗料なども取り揃えています。

#### インドスーパーセラック

天然樹脂セラックを主成分にし、耐溶剤性に優れた木材節ヤニ止め下塗り用塗料です。樹脂の特性を活かし絶縁ニスにも使用されています。



#### フードグレ<mark>ー</mark>ズ

チョコレートの保護塗料です。 食品添加物にも認められている天然樹脂 であるセラック樹脂を水溶性化し表面に コーティングします。

セラック樹脂でコーティング、光沢を出したりチョコレートから出る油分でチョコレート同士がくっついてしまうのを防ぎます。



#### BN <mark>バ</mark>ーク

美観や環境性能に配慮した木材ワレ防止剤です。

絵画保護ワニスにも使用されている天然由来成分を中心に独特の配合で織り交ぜました。油性塗料でありながらPRTR指定溶剤は不使用。トルエン、キシレンに代表される臭気の強い溶剤を使用しないことで低臭化を実現しました。





















#### 環境経営理念

安心して人間らしく生きることのできる環境、地域を守り続けることが経営の重要課題であります。 塗料を扱う当社だからこそ環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。 当社の塗料製造・販売の事業活動における環境負荷低減の継続的改善を真剣に考え取り組む為、行動指針を次のように定めます。

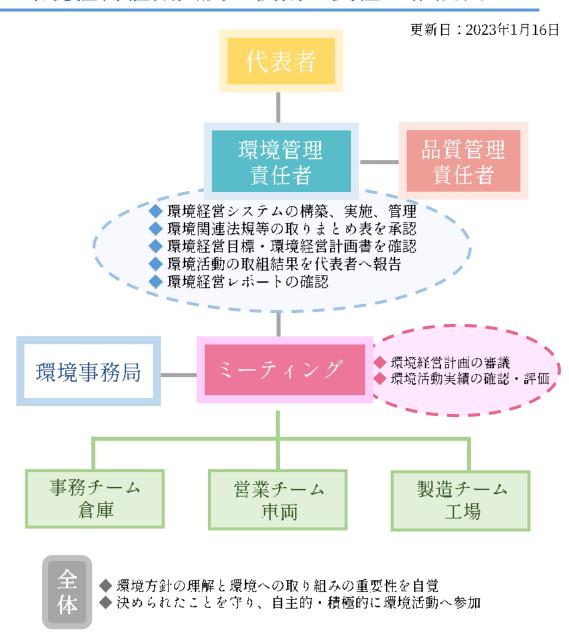


#### 環境保全への行動指針

- 1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制に努めます。
- 4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5. 洗浄剤やコーティング剤など適正管理に努めます。
- 6. 安心で安全な商品と環境に関する情報を効率よくタイムリーにお客様にお届けします。
- 7. 印刷物加工機メンテナンスにおける環境配慮に努めます。
- 8. 安全な作業環境を社員に提供します。
- 9. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日:2010年10月1日 改定日:2022年11月8日 代表取締役社長 馬場正之

#### 環境経営組織図及び役割・責任・権限表



#### 代表者

- ◆環境経営に関する統括責任
- ◆環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等 経営資源を準備
- ◆環境管理責任者を任命
- ◆環境経営方針の策定・見直し
- ◆環境経営目標・環境経営計画書を承認
- ◆代表者による全体の評価と見直し、指示
- ◆環境経営レポートの承認・・・等

#### 環境事務局

- ◇環境管理責任者の補佐、ミーティングの事務局
- ◇環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの 自己チェックの実施
- ◇環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
- ◇環境活動の実績集計
- ◇環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
- ◇環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
- ◇環境関連の外部コミュニケーションの窓口
- ◇環境経営レポートの作成、公開 (事務所に備付けと地域事務局への送付)

#### 部門長

- ◆ 自部門における環境経営方針の周知
- ◆ 白部門の従業員に対する教育訓練の実施
- ◆ 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
- ◆ 白部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
- ◆ 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための 手順書作成
- ◆試行・訓練を実施、記録の作成
- ▶ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施

## 主な環境負荷の実績



今期の環境経営目標及びその実績

※二酸化炭素排出係数 0.311 kg·CO<sub>2</sub>/kWh 電力会社(関西電力)の調整後の係数

	年度	基準値	202	22年	2023年	2024年
項目		(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力によるCO2削減	kg-CO2	2,328	2,282	2,543	2,235	2,212
E / Tick & OO2 Fill My	基準年度比	2019年	98%	109%	96%	95%
原単位	KWh/千円	0.0205	0.0201	0.0178		
自動車燃料による CO2削減	kg-CO22	9,596	9,404	8,746	9,308	9,212
CO2削減	基準年度比	2019年	98%	91%	97%	96%
上記CO2排出量合計	kg-CO2	11,924	11,685	11,288	11,543	11,423
一般廃棄物の削減	kg	356	338	418	331	320
一般発業物の削減	基準年度比	2019年	95%	118%	93%	90%
4 産業廃棄物の削減	t	2.2	1.9	1.3	1.7	1.5
产来完 <del>来</del> 物 <sup>©</sup> Find	基準年度比	2016年	90%	58%	80%	70%
▲ 水道水の削減	m³	89	85	51	82	80
<b>一</b>	基準年度比	2019年	95%	57%	92%	90%
PRTR製品比率向上	%		67%	82%	67%	67%

上記の他に化学物質の適正管理、印刷物加工機メンテナンスにおける環境配慮、再生原料利用の推進に取り組んでいます。

## 主な環境負荷の実績



## 過去3年間における環境経営目標及びその実績

※二酸化炭素排出係数 0.493 kg·CO<sub>2</sub>/kWh

年度		201	9年	202	20年	202	1年
項目		(目標)	(実績)	(目標)	(目標) (実績)		(実績)
電力による	Kg-CO2	3,594	3,691	3,617	3,569	3,617	3,767
CO2削減	基準年度比	98%	101%	98%	97%	98%	102%
自動車燃料による	Kg-CO2	8,234	9,596	9,404	6,891	9,404	8,012
CO2削減	基準年度比	98%	114%	98%	72%	98%	84%
上記CO2排出量合計	Kg-CO2	11,828	13,286	13,020	10,459	13,020	11,779
一般廃棄物	kg	347	356	331	321	331	319
の削減	基準年度比	93%	103%	93%	90%	93%	90%
産業廃棄物	t	1.9	1.3	1.9	1.4	1.9	1.4
産業廃業物の削減	基準年度比	90%	58%	90%	67%	90%	67%
▲水道水の削減	基準年度比	164	89	85	67	85	112
	卒华十戊山 	95%	51%	95%	75%	95%	126%
非PRTR製品 比率向上	%	67%	67%	67%	80%	67%	79%

## \*Q\* 電力の二酸化炭素排出量削減



2,282 kg-co₂⇒



2,543 kg-CO<sub>2</sub>



#### 主な取り組み内容



節電・省エネ 効率的運用





温室効果ガス





#### ◇事務所・工場各所に節電表示

全てのスイッチ部分にラベルを貼り、 常に節電を意識しやすい環境を作っています



#### ◇事務所照明の省エネ利用

日中は事務所の照明の半分のみ使用し、 積極的に節電を行っています





◇駐車場・現場照明をLEDに総入れ替え

## 取組計画 節電運動展開 不要照明の消灯 工程ロス削減 クールビズ運動 ウォームビス運動 冷房28℃ 暖房20℃

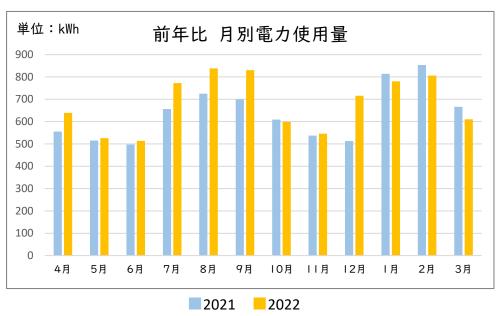
## ■ 目標を大幅に超える結果ですが…

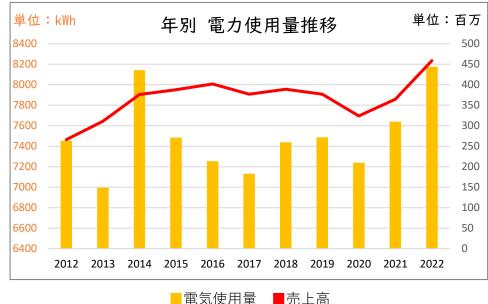
今期は全体的に電力の使用量が多く、基準達成することが出来ませんでした。その要因としてはスポットクーラーの導入の他、製造数の増加が考えられます。

また、2月などはエンドレス板事業が活発に動き始めたこともあり、例年よりも大幅に数値が増加する結果となりました。

幸い、売上高原単位評価は概ねクリアできたため来期では基準値の再設定を行い様子を見てみようと思います。また、取組計画の節電運動展開をスポットクーラーの計画的使用に変更予定です。 (環境管理責任者)

## ■ 年間の電力使用量は前年比 264 kWh増





#### 電力二酸化炭素削減評価

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月次評価	×	0	0	×	×	×	0	0	×	×	×	×
累計評価	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

IO月、II月と少し持ち直しましたが、数値の増加はなかなか抑えられませんでした。ただ、例年と比べ製造数も大幅に増加しているため、ある程度は仕方ないと考えています。

#### 売上高原単位評価

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月次評価	×	×	0	0	0	0	0	0	×	×	×	0
累計評価	×	×	×	×	0	0	0	0	0	0	0	0

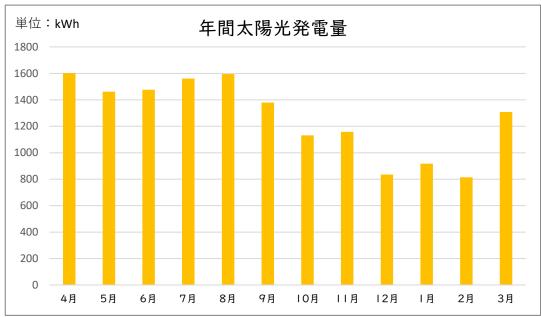
年度初めは月次・累計共に×が続きましたが何とか持ち直すことが出来ました。人員も増え、製造量も増加傾向になってきているため基準年の数値の見直しが必要です。





ソーラーパネルは当社の関連会社が運営する施設の

屋上に設置しており、災害・停電時の 非常用電源として備えています。



適応

#### 今期の太陽光発電による売電量は15,240kWh - 402,331円

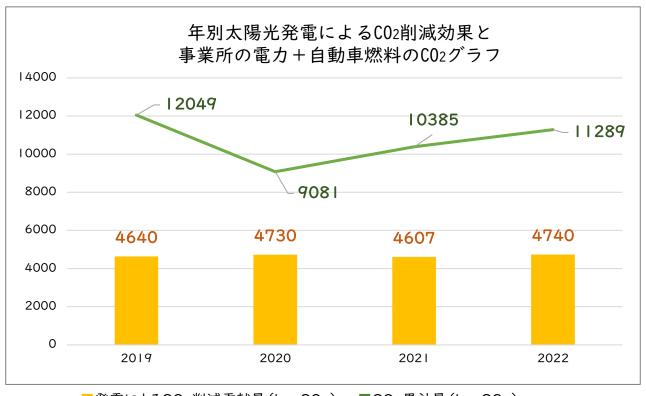
太陽光発電における年間のCO2削減量は以下の通りとなっており、

 15,240 kWh
 ×
 0.311 kg-CO2/kWh
 =
 4,740 kg

 発電量(kWh)
 ×
 C02 排出係数(kg/kWh)
 =
 C02 削減量(kg)

今年度の電力消費量におけるCO2排出量(2,781Kg)の約1.7倍の数値でした。

#### カーボンニュートラルに向けた取り組み



■発電によるCO2削減貢献量(kg-CO2) ■CO2累計量(kg-CO2)

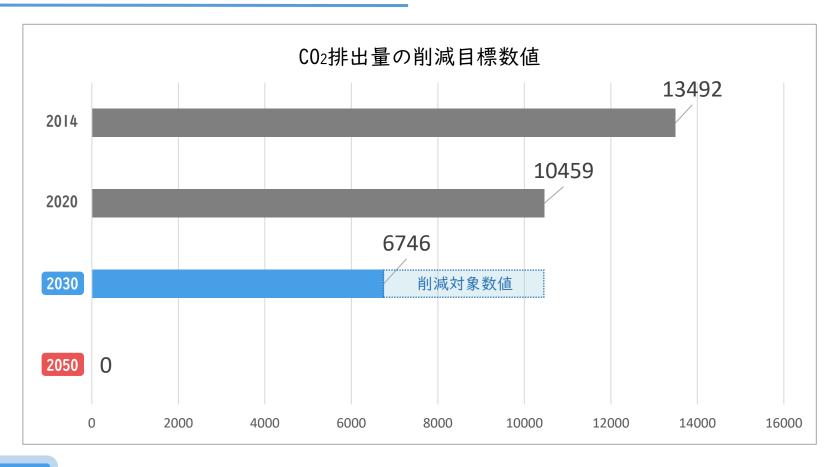
## ■ 弊社の取り組み ※太陽光発電は現在はFIT制度で売電しているが、FIT終了後\*は自家消費の予定

\*2041年3月終了

グラフは太陽光発電パネル設置年(2019)から今期までの太陽光発電によるCO2削減効果と、自社でのCO2総排出量(電力+自動車)の推移です。

従来の排出量削減の取り組みに加え、目標達成に向け再生エネルギーの積極的な導入を考えています。 (発電量によるCO2削減貢献量の計算には当社の電力の二酸化炭素排出係数(0.311 kg・CO2/kWh)を用いています。)

#### カーボンニュートラルに向けた取り組み



#### 中期目標

過去最も排出量の多かった2014年の数値から50%削減

取り組み: 電力の省エネ、自動車のEV化、再エネ電力使用、駐車場に太陽光発電の設置

## 長期目標

実質排出Oを目標に

取り組み: 電力の省エネ、自動車のEV化、再エネ電力、太陽光発電

## ● 自動車の二酸化炭素排出量削減



**9,404** kg-CO2 ⇒



8,746 kg-co2



#### 主な取り組み内容





排気ガス 温室効果ガス



#### ◇ 積載量に応じた車両の使い分け

配達量に左右されるため、自動車の使用率(co2排出量)は中々下げられません。ですが、受注・配達時に最低限の走行距離になるよう日々段取りしています。

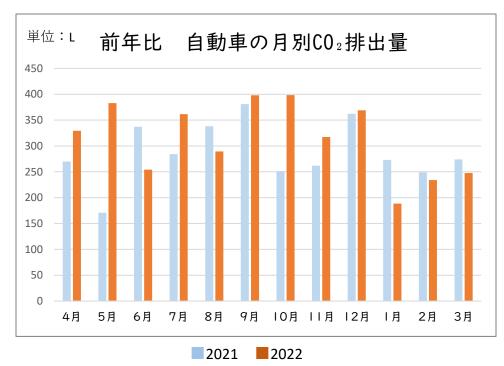
取組計画	
アイドリングストップ	0
効率的なルートで配送	0
急加速・急停止の防止	0
冷暖房の控え目使用	Δ

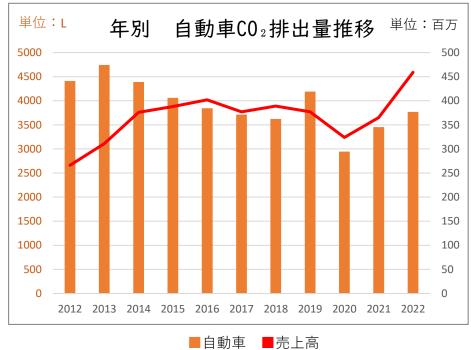
#### 自動車の二酸化炭素削減評価

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月次評価	×	0	×	0	0	0	0	0	×	0	0	0
累計評価	×	×	×	×	0	0	0	0	0	0	0	0

荷受けや引き取り待ちの時は、アイドリングストップを煮識して効率の 良い運転を心掛けました。







## CO₂排出量 前年比 +734 kg-CO2

新半の月は配達量が少ない割に数値目標を達成できなかったため、<mark>配達ルートの見直し</mark>を行いました。

その甲斐あってかその後は順調に基準を達成することが出来ました。燃料も高騰しているため、今後も徹底して効率の良い配達方法を検討していきます。

(中両担当者)

今年度の年間走行距離は31,565kmでした。

**331** kg ⇒

実績

**418** kg







発生抑制 製品・ サービス

12 つくる責任 つかう責任



省資源





#### ◇ 梱包材に再利用

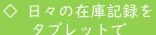
出荷時に簡易包装&梱包材の再利用を行って います 倉庫発送時にはラベルの離型紙など を緩衝材として用いています。



#### ◇ 古紙リサイクル 裏紙の再利用

まだまだ受発注はFAX形式 が多いため、裏紙を積極的 に再利用しています





廃棄物の削減のほかに、 作業効率アップにもつな がっています



◇ お弁当を使い捨て →回収容器の業者へ

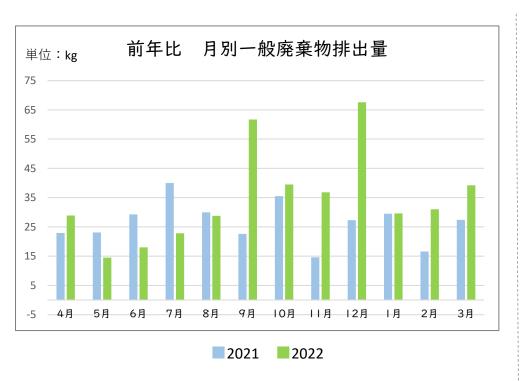
主な取り組み内容

## 取組計画

分別の徹底	<b>V</b>
梱包材に再利用	0
ミスコピーの防止	×
裏紙の再利用	0

#### 一般廃棄物の削減評価

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月次評価	0	0	0	0	×	×	×	×	×	×	×	×
累計評価	0	0	0	0	0	×	×	×	×	×	×	×



## #出量削減のための対策

製造量の増かいに伴い、副資材から出るゴミの排出量も大幅に増えています。これらは可能な限り梱包材や 裏紙などに転用していますが、再利用できない分をどれたけ削減できるかが今後の課題です。

現状の基準値でワリアしていくことは厳しいため、数値の見直しを行いたいと思います。 (事務担当者)



数値 目標

1.9 t ⇒



1.3 t



#### 主な取り組み内容

6 安全な水とトイレ を世界中に 11 住み続けられる まちづくりを



排水

廃棄物の 適正処理

リサイクル



#### ◇ 廃サクエを用いて掃除

回収してきた缶の軽い汚れなどは 廃サクエで拭き取っています。



◇ 廃液の分別処理

掲示など明確に区分けして います。



■産廃排出量 ■売上高

## 取組計画

作業ミスによる廃棄量の削減



製造歩留まり率のアップ



## 排出量が大幅増・・・

今期は排出量が大幅に増加してしまいました。この項目も製造内容に左右されるため来期からは、排出量の多い仕事の分散と廃棄物の分別を徹底していきます。

また、排出量の増える原因と削減方法も探っています。

(品質管理責任者)



数値 目標

8 5 m<sup>2</sup>

実 績

**5 1** m<sup>2</sup>





▼ 水使用量 再利用

11 住み続けられる まちづくりを



廃棄物の 発生抑制



◇ 節水レバー取り付け(右)◇ 節水ラベル表示(左)

目につく所全でにラベルを貼り、節水の意識付けに繋がっています。



◇ 水温調節を氷→凍らせた ペットボトルで代用

主な取り組み内容

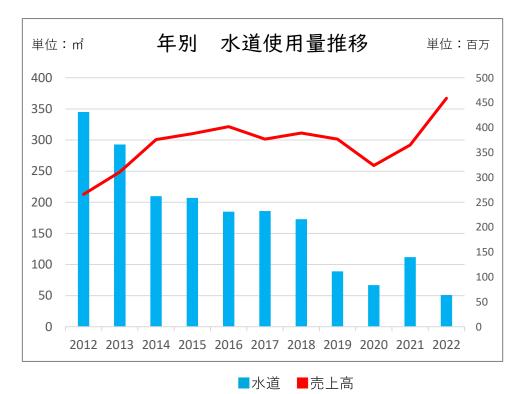
取組計画	
水道水削減目標説明	0
節水レバー取り付け	0
節水呼びかけ	0

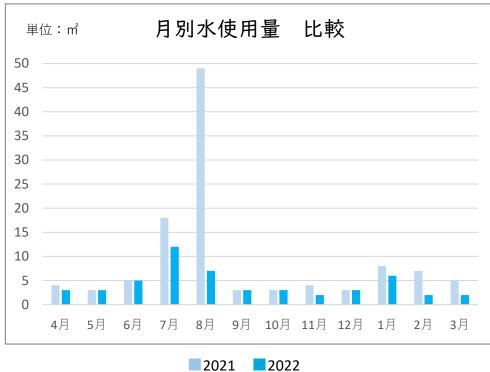
#### 水道水の削減評価

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月次評価	×	0	×	×	0	×	×	0	×	0	0	0
累計評価	×	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0

例年の課題であった夏場の散水方法を変更したため、7~8月の使用量を大幅削減 することができました。今後も効率的な使用を徹底していきたいです。







#### 数値目標を無事クリア

上半期においては仕事量に対し数値が少し高めだったことが気になりますが、結果的に数値目標を達成できてよかったです。月次評価ではここ数年で徐々に×がつく月が増えてきているので、取組計画や削減方法の見直しを考えていきたいところです。

(環境管理責任者)



数値 目標

50 % 以上 ⇒



55 %



#### 主な取り組み内容

**12** つくる責任 つかう責任

CO

グリーン 購入 製品・

サービス







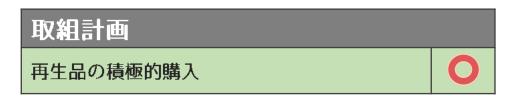
◇ 再生品

本項目はドラム単位で仕入れをしている原料のうち 再生品、純正品を並行して購入している商品に絞って 計測をしています。

アセトンに関しては再生品の仕入れが100%のため、 その他の原料においても再生品に置きかえられる商品を 増やしていきたいと考えています。

#### 月別購入量比較

	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
再生品A	D/M	0	0	0	8	12	16	20	12	21	12	20	20	141
純製品A	D/M	30	0	15	10	15	10	5	5	5	5	10	5	115



#### 主な取り組み内容

11 住み続けられる まちづくりを

3 すべての人に 健康と福祉を



化学物質 建築物製品・サービス





排水



◇ 施設内での商品別管理

製品の他、原材料も明確な置き場の区分を定め製造時の異物混入防止・在庫管理を行っています



#### ◇ 消防法に対応した保管

消防の監査の際の指摘が あった場合には適宜対応 しています



#### ◇ 危険物取り扱いの周知

周囲は住宅街で通行人も非常に多 いため、注意喚起の看板を設置し 周知に取り組んでいます

# 取組計画 有害性物質の表示の徹底 ○ 容器の蓋の徹底 ○ 作業ミスによる使用量増加の抑制 ○ 貯蔵タンクの定期点検と日常点検 ○ SDSの作成と顧客への提供 △

## 適正管理を行っています

多くの危険物を取り扱うため、徹底した管理を行っています。 安全面の他、作業効率や品質向上にもつながる取り組みでもある ので継続的に見直し・修正をしていきたい項目です。

また、近隣には住宅も多いので進入禁止・危険物取扱周知をし、 事故の未然防止に努めています。





自社商品ラベルにはGHSやSDSへ直接アクセス可能なQRコードの印字をすることで使用者がいつでも危険性を確認でき、また適切に管理できるようになっています。

## 危険性の表示 (GHS)

化学品の危険・有害性ごとに分類 基準をピクトグラム等で表したもの。



#### SDS (安全データシート) へのリンク

SDSとは事業者が化学物質を含んだ製品などを使用、もしくは他の事業者に提供する際に交付する危険性を記載した文書のことで主に火災、人体、環境等の危険性がまとめられている。





67 % ⇒

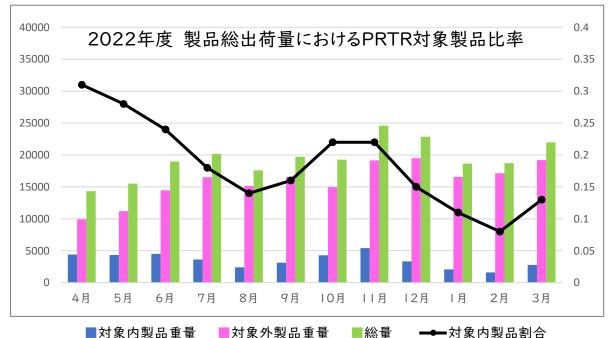
実績

82 %





取組計画	
非PRTR製品の販売促進	0
脱トルエンの推進	0
SDS評価の提案サービス	0



## 目標値を無事達成

4,5月は売り上げの落ち込みがダイレクトに反映されていましたが、後期は製造量が通常に戻る結果となりました。

商品の製造内容によって比率の大小の 月はありますが、年間通して全てクリア 出来て良かったと思います。

今後も注文内容に左右される項目では ありますが、脱トルエンの推進に努めま す。 (製造担当者)

#### 経営における課題とチャンスと取り組み



#### 経営課題に関する取り組み

エンドレス板の加工に我が社も取り組んでいます。 業界の存続にも関わる事業なので、今後も継続する為に重要な業務です。

後期に2度メンテナンス作業を行うことがあり、そのうちの | 件は新規でさせて頂くチャンス を貰えました。また、メンテナンス作業とは別に、手直しをする作業も2件ありました。今後 も更なる技術の向上を求められているので、頑張ります。





#### SWOT分析

内部	外部
課題	課題
・設備の老朽化、手作業の多さにより対応力に限界がある ・中心となる取引先が印刷の表面加工業界に偏っている ・社長と社員との間に商品に関する知識量の差がある	・表面加工業界の高齢化が進んでいる ・フィルムに関しては安売りの輸入品が広がり始めている ・表面加工を必要としない印刷技術が進展している ・原油価格と為替相場の変動 ・コロナの流行による受注減
チャンス	チャンス
・作業改善と作業方法の見直し ・取引額によらない継続取引 ・商品知識習得の勉強会実施 ・展示会見学などへの参加	・メンテナンス事業立ち上げ ・新しい取引条件の提案 ・印刷業界の新規営業 ・原料メーカーの選定と価格交渉 ・除菌剤など新商品開発

#### 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

#### 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです

適用される法規制	適用される事項(施設・物資・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラ、廃油等)
水質汚濁防止法	地下タンク貯蔵所
PRTR法	製品のSDS発行
毒物及び劇物取締法	溶剤
消防法(危険物)	地下タンク貯蔵所・製造所
大阪府自動車流入規制	トラック
フロン排出抑制法	該当なし
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境関連法規制は順守されていました。 なお、違反、訴訟なども過去三年間ありませんでした。

外部からの環境上の苦情・要望等は年間を通してありませんでした。

平時の推進体制の整備、訓練及び教育の実施その他の事業継続力強化の実効性を確保するための取組

代表者の指揮の下、エコアクション21の年1回の定期的な緊急事態の訓練を行い、手順書の有効性行動の実効性を確認・評価を行うとともに、年1回の定期見直し時に、事業継続力強化の有効性、適切性を検証する。必要に応じて事業継続計画の見直しを行う。

#### 関係法令の遵守

事業継続力強化の実施にあたり、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和二十二年 法律第五十四号)、下請代金支払遅延等防止法(昭和三十一年法律第百二十号)、下請中小企業振 興法(昭和四十五年法律第百四十五号)その他関係法に抵触する内容は含みません。

#### 緊急事態対応の試行・訓練





弊社では劇毒物・危険物等を取り扱っているため火災発生時、溶剤流出時を想定し 消火・避難訓練、流出事故対応などの訓練を行っています。今期では下記の内容を行いました。

#### 溶剤の流出を想定した訓練

◆ 流出事故対応

◆ 実施日:2022年7月14日

◆ 参加者: 全社員

◆ 実施内容:製造所で原料が流出

実際に流出してしまった場合は初動が非常に肝心なため、日頃から吸着マットなどの資材の場所や使用方法の確認を欠かさずに行っています。 定期的に行う訓練なので、今後は色々な状況に対応できる様に設定を検討します。



▲製造タンクより流出の想定 工場外へ流出を防ぐ



#### 災害時を想定した訓練

◆ 避難訓練

◆ 実施日: 2022年9月8日

◆ 参加者: 全社員

◆ 実施内容:災害時の対応と避難訓練

現場内の消火器を示した地図をもとに実際の場所と、災害時の避難ルートの確認を行いました。

いざという時に迅速に行動できるよう意識して行うことが出来ました。

手順書の変更の必要性 □あり 図なし



▲消火器置き場の確認 対応サイズの確認



▲避難ルートの確認

実施時期:2020/11~2023/10

認定年月:2020/12



#### 自社の事業活動の概要

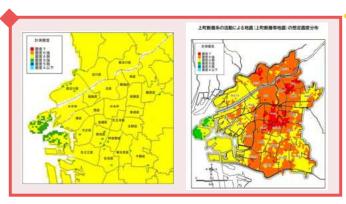
塗料製造および販売、印刷物表面加工用資材販売を行っており、サプライチェーンで重要な材料を販売している。

#### 事業継続力強化に取り組む目的

- ・災害時に人命を最優先として、従業員の安全と生活を守る
- ・災害時に速やかに事業継続が可能な状態にする

#### 事業活動に影響を与える自然災害等の想定

- ◆ 南海沖巨大地震の今後30年以内に発生する確率が80%であり、 想定震度は6弱と想定されている
- ◆ 上町断層帯地震の震度は6強と想定されている
- ◆ 淀川が氾濫した場合は0.5m~3.0mの浸水が想定される。
- ・感染症によって一時的に社員が出勤できないことが想定される





#### 自然災害等の発生が事業活動に与える影響

▲ 人員に関する影響

怪我による 事業継続の困難 ●● 建物・設備に関する影響

- ・損害により事業所が 使用困難
- ·OA機器が使用困難

● 資金繰りに関する影響

運転資金が一時的に 不足になる 情報に関する影響

データが失われる 可能性がある

## 事業継続力強化計画 - (1)自然災害等が発生した場合における対応手順

#### ①人命の安全確保

初動対応の内容	発災後の 対応時期	事前対策の内容			
社員の避難	発災直後	・自社での安全な場所の設定(事務所内) ・公的避難所の設定(大阪城公園) ・避難訓練の実施			
従業員の安否確認	発災直後	LINE、メールの利用			
生産設備の緊急停 止	発災直後	緊急時の機器停止手順の周知・確認			
感染発症時	発症直後	・発症時は出勤を見合わせる ・感染予防対策の実施			

#### ②非常時の緊急体制の構築

<u> </u>						
初動対応の 内容	発災後の 対応時期	事前対策の内容				
EA21の実施体制 (統括者、責任 者)に適応する	半日以内	EA21の緊急事態の 対応訓練の定期的な実 施				

#### ③被害状況の把握、被害情報の共有

初動対応の内容	発災後の 対応時期	事前対策の内容
被災状況や、生産・出荷活動への影響 の有無の確認	2時間以内	【被害状況の把握】 ・LINEによる安否確認 ・建物の破損状況確認
当該情報の第一報を顧客及び取引先並びに地元の市当局、商工団体に報告	2時間以内	・OA機器の破損状況確認  【被害情報の共有】 ・被災状況と生産、出荷見込みを自社のホームページに掲載するとともに、顧客及び関係者にメールにて連絡する。  【感染者に関する情報の共有】 ・陽性が確認できた場合は、感染症アプリCOCOAを利用し、通知するとともに濃厚接触者に電話、メールで通知する。

## 事業継続力強化計画 - (2) 事業継続力強化に資する対策及び取組

#### A 自然災害等が発生した場合における人員体制の整備

#### 現在の取組

被災、感染で休業者が出た場合はカバーすることが 難しい



#### 今後の計画

- ・作業、業務の多機能化を図る
- ・勤務シフトによる対応を行う

#### B 事業継続力強化に資する設備、機器及び装置の導入

#### 現在の取組

- ・太陽光発電設備の有効活用利用を未検討である
- ・予備部品の検討がされていない
- ・感染症予防のための備品が不足する可能性がある



#### 今後の計画

- ・停電時でも受発注業務が可能なように、太陽発電装置の電力供給の ための手順を作成し、必要な機材を準備する
- ・浸水で機器が故障した場合に備えて、緊急対応時のパーツを確保する
- ・感染症予防のため、マスク、アルコールを備蓄する

#### 事業活動を継続する為の資金の調達手段の確保

#### 現在の取組

一か月間の運転資金を現金で所有している



#### 今後の計画

3か月分の運転資金を確保する

#### D 事業活動を継続する為の重要情報の保護

#### 現在の取組

既存クラウドに定期的にバックアップしている



#### 今後の計画

今後も定期的にバックアップを継続する

## 地下貯蔵タンクの定期点検

消防法に基づき、弊社では地下貯蔵タンクの定期点検を3年に1回\*行っています。(<mark>前回点検:2021年4月24日</mark>) また、タンクの老朽化対策として電気防食(外部電源方式)を設置しており、周囲の安全保持に日々注力しています。











弊社では社員の健康と安定して業務を行うことを目的として以下の感染症対策を行っています。

事務所・応接室に 飛沫防止用アクリル板を設置





出社時に検温チェック &体温表で管理

#### 社内外へ向けた掲示







朝夕に事務所・社用車の除菌の徹底

#### 上記以外にも

- ・緊急事態宣言時は2班に別れ交代勤務制
- ・昼食時は全社員が別室へ移動し、同席を避ける
- ・手拭きタオルを衛生的なペーパタオルへ変更

などの対策を徹底しています。

## ネット販売商品





コロナウイルスの感染拡大をきっかけに自社で除菌剤の製造・販売を開始しました。 厳しい状況が続く中、従来では行っていなかったネット販売へ販路を広げるなど新しい取り組みに挑戦しています。

アセトンリムーバー Profession

そして弊社では『従来のPRTR該当商品の製造数を減らす』のではなく、これらのネット販売商品のような『非PRTR商品を増やすことで相対的に減らしていく』という方向で取り組んでいます。



IPA



## ネット販売商品 - 再生品の使用



#### 再生品の使用について

現在、一部商品の原料(アセトン・IPA・酢酸エチル)に『再生品』を積極的に採用しています。 再生品自体は基盤の洗浄で使ったものを蒸留したものであり、成分としては純正とほとんど変わらないため既存の 取引先も再生品を使用した製品に切り替わってきています。



#### バイオエタノールの使用

食品添加物の製造で使用していた醸造エタノールがバイオエタノールに該当しており、 新商品等の原料にも採用しています。

化学物質を取り扱う中でも、できる限り環境に配慮した製造を意識しています。

#### バイオエタノールとは

さとうきびやトウモロコシなどのバイオマスと呼ばれる生物資源から製造された エタノールの事です。これらは原料の成長過程で光合成をおこないCO2を吸収 する為、おおきなサイクルで見た時に一方的に大気中にCO2を放出することに ならないので環境に良いとされています。



バイオマス

## 環境活動への取り組みの現状



環境への取組として下記の内容を行っています。

## グ リ <mark>ー</mark> ン カ ー テ ン

環境負荷の削減にのみ 意識が向いてしまいますが、 このような緑化の取り組み にも力を入れていきたい と考えています。









毎朝、社周辺を 清掃しています。

割辺の

美 化 活 動

自社菜園





木工用ニスを取り扱う弊社ではチェーンソーアートイベントに協賛・出店しています。

## 森の感謝祭inたかとり 2022

高取チェーンソーCLUBが運営するチャリティーイベント。 このイベントで使われる木材はすべて間伐材が利用されています。





▲ 設営風景



▲ 出来上がった作品に二スを塗布

イベントを通してこれからも森林保全を意識した活動を 続けていければと考えています。

# 代表者による

## 斊体の評価と見直し・指示 🎝

実施日:2023.6.5 更新日:2023.10.2

コロナ禍で始めたネット販売が大きく進展し、製造品目も増え売り上げも過去最高を達成しました。メインである印刷業界が停滞する中自社としても大きな転換期となった一年でした。しかし、ネット販売用に新たな少量の荷姿が増えプラスチック容器や梱包材の使用も増えました。また手作業もずいぶん増えました。

アイテムが増え、作業工数も増えるとロスや廃棄物が多くなりがちです。これからさらに商品アイテムを増やしていく中で、材料ロス、作業ロスの削減を常に意識し梱包資材の更なる再利用等で廃棄物を減らしていく工夫をしてください。新製品開発や他社にない荷姿を楽しみながら考えることで更なる上昇を目指しましょう。

環境経営方針

☑ 変更なし

□ 変更あり

環境経営目標·計画

□ 変更なし

☑ 変更あり 基準年度の見なおし

実施体制

☑ 変更なし

□ 変更あり



昨年は、2022年度はついに大阪同友会の環境経営レポートで大賞を頂きました。社長と2人でスタートした頃は、審査に通ればイイそんな感じでした・・・。 社員が少しずつ増え、組織として目標を持って活動できる会社となり、その結果に大賞まで頂けたことは本当に嬉しく思います。

今後も賞を狙える様、常にカーボンニュートラルの意識とレポートのクオリティにこだわって活動していきます。